



就学前児童の保護者を対象とした 「豊岡小学校の学校再編に関する説明会」



▲：茂原市マスコットキャラクター「モバリん」

日時 令和7年9月28日(日)10:30～

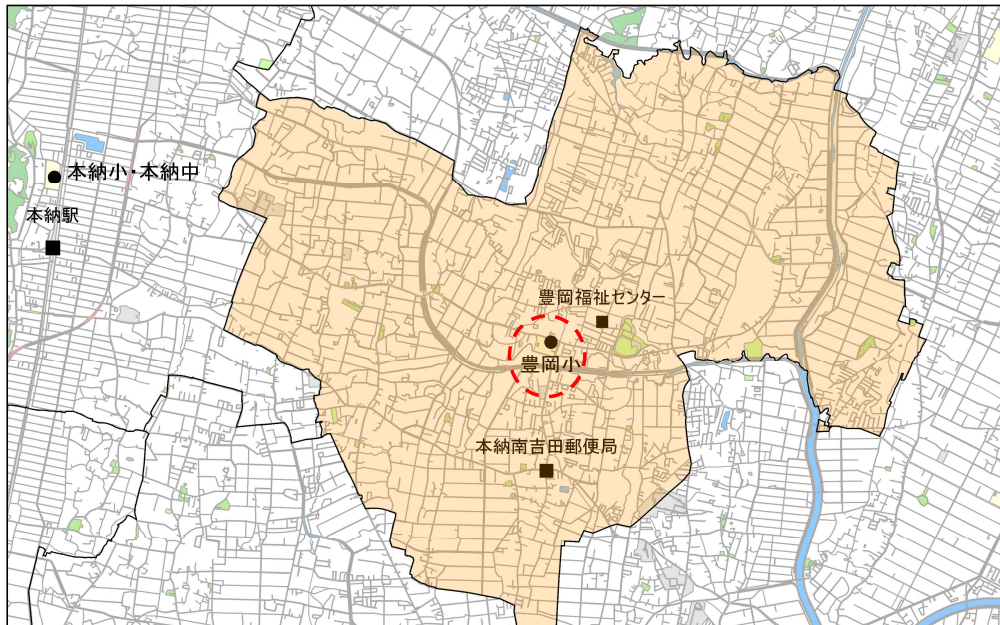
場所 豊岡福祉センター 娯楽室

茂原市教育委員会 教育総務課

本日の内容

- はじめに (3 ページ)
- 計画に示されている豊岡小学校と
本納小学校の統合の現在の状況 (4 ～ 6 ページ)
- 豊岡小学校の状況 (7 ～ 8 ページ)
- 小規模校のメリットと課題 (9 ～ 12 ページ)
- 現代の学校教育に求められること (13 ～ 15 ページ)
- 本納小学校の状況 (16 ～ 17 ページ)
- 学校統合までに必要な準備期間のイメージ (18 ページ)

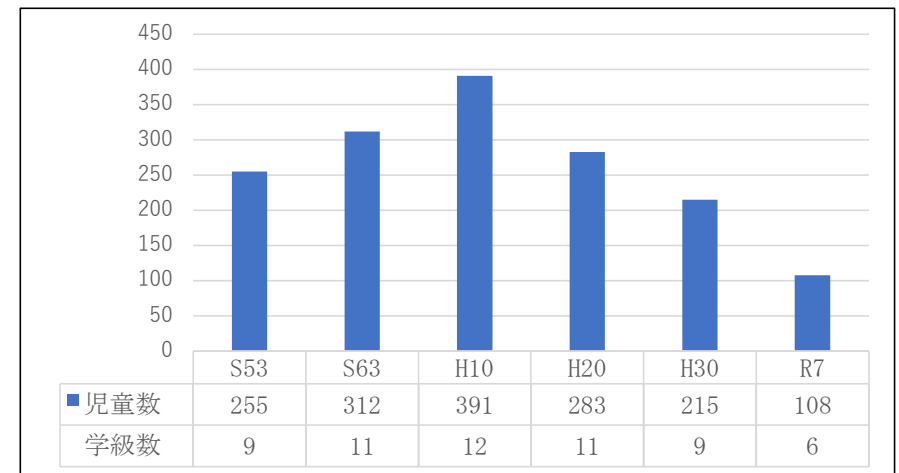
〇はじめに



学校概要

所在地	茂原市弓渡255番地
創立年	大正元年（1912年）
敷地面積	18,540m ²
延床面積	3,660m ²

児童数と学級数の推移



○計画に示されている豊岡小学校と本納小学校の統合の現在の状況

茂原市学校再編第二次実施計画の内容(一部抜粋)

- 児童数の推移を注視し、保護者や地域住民等と協議を重ね、理解を得ながら、令和8年3月31日までに統合時期を定めるものとします。

令和4年度から、毎年、PTAや自治会の代表者と話し合いを行っています。

- 統合時期は令和8年4月1日以降の早期を目指すものとし、今後の児童数の減少に応じ具体的な協議を進めるものとします。

合意に至っておらず、
統合時期は決定していません。

- 使用校舎については、本納小学校を使用します。

- 豊岡小学校の児童は、統合により通学距離が遠距離となるため、スクールバスなどの導入により通学手段を確保します。

○計画に示されている豊岡小学校と本納小学校の統合の現在の状況

これまでの話し合いでの主な意見

○統合校の場所に反対。

- ・水害がある、道路も分断される。
- ・ガスが出る。
- ・中学校と施設共有で、自由に使えない、せまい。
- ・学校にプールがない。

○本納小学校の教室数が足りないのではないかと。

○小学校と中学校が一緒に、互いに我慢し、肩身がせまい。

○計画に示されている豊岡小学校と本納小学校の統合の現在の状況

なぜ、統合なのか

義務教育段階の学校が果たす役割

各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うこと
(教育基本法第5条第2項より)

単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、
集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせる。

そのため
には

学びの充実が図れる学校規模を確保することが大切

○豊岡小学校の状況

(令和7年度)各小学校の児童数・学級数

学校名	東郷小	豊田小	茂原小	西小	五郷小	鶴枝小
児童数	363人	280人	277人	176人	179人	118人
学級数	13学級	12学級	12学級	7 学級	7 学級	6 学級

学校名	萩原小	中の島小	本納小	豊岡小	東部小	二宮小
児童数	543人	325人	155人	108人	549人	182人
学級数	18学級	12学級	7 学級	6 学級	19学級	8 学級

※令和7年5月1日の児童数・学級数

○豊岡小学校の状況

豊岡小学校の児童数・学級数(現状と見込み)

⇒ 推計

令和元年4月2日～
令和2年4月1日生まれ

豊岡小	R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13	
1年	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1	8	1	8	1
2年	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1	8	1
3年	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1
4年	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1
5年	15	1	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1
6年	28	1	15	1	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1
全校児童数	108	6	93	6	90	6	82	6	80	6	71	6	63	6

※令和7年度：実績

令和8～13年度：住民基本台帳（令和7年4月1日時点）による推計

○小規模校のメリットと課題

小規模校のメリット

- 教員の目がゆきとどき、個別の配慮がしやすい。
- 温かい雰囲気醸成され、親密な友人関係を構築しやすい。
- 発表したり、リーダーを務めたりする機会が多くなる。
- 学校の施設を余裕をもって使える。
- 地域にとって、一人一人の子供を知ることができ、結びつきやすい。

○小規模校のメリットと課題

小規模校の課題(デメリット)

- 社会性やコミュニケーション能力が身につみにくい。
 - 人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
 - 多様なものの見方・考え方に触れることが難しい。
 - 様々な学習形態をとれないことがある。
 - 集団学習の実施に制約が生じる。
- ☆複式学級では、1人の教員が2つの学年を同時に指導するため、課題が大きい。

複式学級とは

複数の学年（例えば2年生と3年生）をあわせて1つの学級とする学級編成になります。



○小規模校のメリットと課題

小規模校には、「メリット」もあれば「課題」もある

小規模となっている学校では、小規模校ならではの特長を生かしつつ、その課題を最小化するように工夫して学校運営が行われています。

⇒外部からでは、課題は見えづらい

しかしながら、過度に小規模化した場合には学校運営の工夫だけでは課題の解消が難しくなります。

さらに児童数が少なくなると、「複式学級」となり、課題は大きくなります。

○小規模校のメリットと課題

複式学級の可能性について

⇒ 推計

※令和7年度：実績

令和8～13年度：住民基本台帳（令和7年4月1日時点）による推計

豊岡小	R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13		R14
1年	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1	8	1	8	1	X
2年	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1	8	1	8
3年	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1	10	1	8
4年	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1	12	1	10
5年	15	1	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1	12	1	12
6年	28	1	15	1	20	1	12	1	17	1	16	1	13	1	12
全校児童数	108	6	93	6	90	6	82	6	80	6	71	6	63	6	

令和14年度に「複式学級」が生じる可能性あり

○現代の学校教育に求められること

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

(新学習指導要領より)



AIの飛躍的進化等により、我々の生活もデジタルトランスフォーメーションによる変化が始まっており、人としての強みを活かしていくうえでは、一人ひとりが当事者意識を持ち、他者と協働しながら新たな価値創造を生み出すことが求められる。

総合科学技術・イノベーション会議

「Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」(令和4年6月)

状況や課題に応じて習得した知識・技能を活用し、協働的に問題解決にあたる資質や能力が必要とされている。

○現代の学校教育に求められること

今の学校では、例えば

千葉県の県庁所在地はどこですか？
地図帳を使って調べましょう。

習得

なぜ、千葉市が
千葉県の県庁所在地になったと
思いますか？

活用

あなたが政府だっ
たら、千葉県のど
こを県庁所在地に
しますか？

探究

○現代の学校教育に求められること

現代の学校教育に求められること

以前の学校教育では、
知識や技能の習得のみを
重視する傾向が強かった。



現代では、
他者とコミュニケーションを図りながら新
たな知識を創りだしたり、新たな問題を解
決したりする資質や能力を育むことが必要。

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性

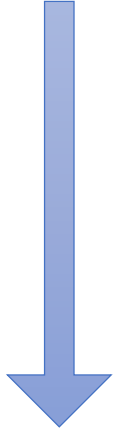
一斉授業
少人数指導

グループ学習
探究学習・体験学習

「学びの充実が図れる学校規模」
が求められる。

特色ある教育の実施

茂原市で唯一の 「施設一体型の小中一貫教育を実施」



茂原市では、全ての小・中学校で小中一貫教育を実施しています。中学校区ごとに、「義務教育の9年間で育成を目指す子供像」を共有し、連続性のある教育を実施しています。その中で、「茂原学の探究」と「英語教育の充実」に取り組んでいます。

小学校と中学校が施設を共用することで、
効果的・効率的に一貫教育を実施できる。

○本納小学校の状況

○相互乗り入れ授業の実施

- ・専門性の高い中学校の教員が、小学校で授業を行います。

【小6(理科) 小5・6(音楽) 小6(英語)】

- ・子供たちの学習状況を把握している小学校教員が、中学校の授業と一緒に入ります。

【中1・2(英語) 中1・2(数学)】

○小学生と中学生の交流授業の実施

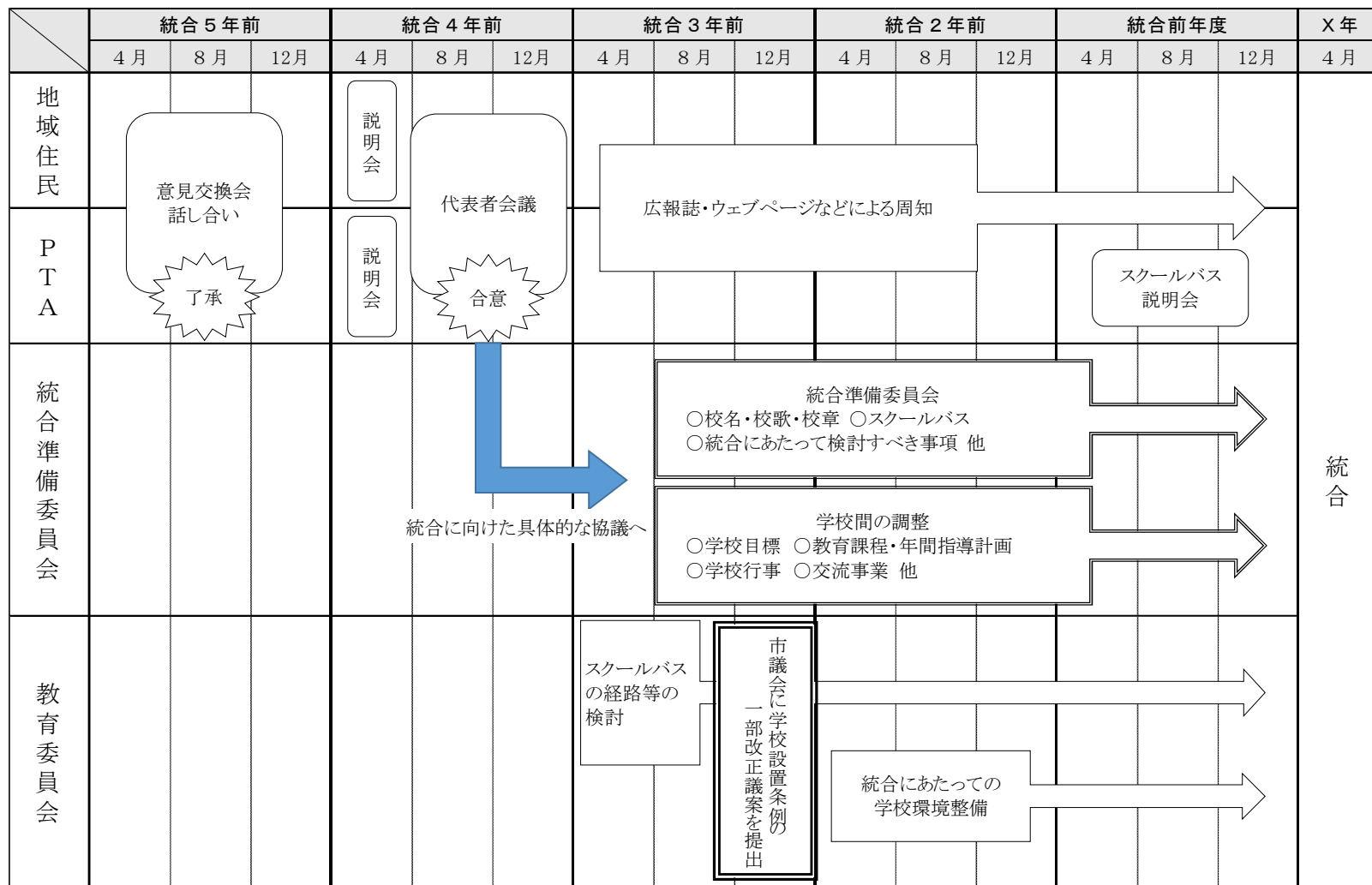
- ・中学校の「紅葉祭」に合唱で参加しています。

【小6】

○水泳指導の民間委託

- ・民間スイミングスクールで、インストラクターが指導を行います。
- ・屋内で温水プールを使用しており、天候や気温に左右されません。

○学校統合までに必要な準備期間のイメージ



※本表はイメージであり、状況に応じて内容や時期の変更が生じます。

本日の説明や豊岡小学校の学校再編に関して、ご意見や感想をお聞かせください。

下に記載の二次元コードをスマートフォン等で読み取り、送信してください。

送信期限: 令和7年10月14日まで

(二次元コードから送信しても、個人のメールアドレス等が外部に流出することはありませんが、通信料が発生します。)



回答期間終了



「本納小学校と豊岡小学校の学校再編について」
茂原市教育委員会教育総務課のウェブページで、
これまでの話し合いや意見交換会の開催状況等
を公開しています。



お問い合わせ

茂原市教育委員会 教育総務課 学校再編推進室

電話:0475-20-1557

FAX:0475-20-1607